

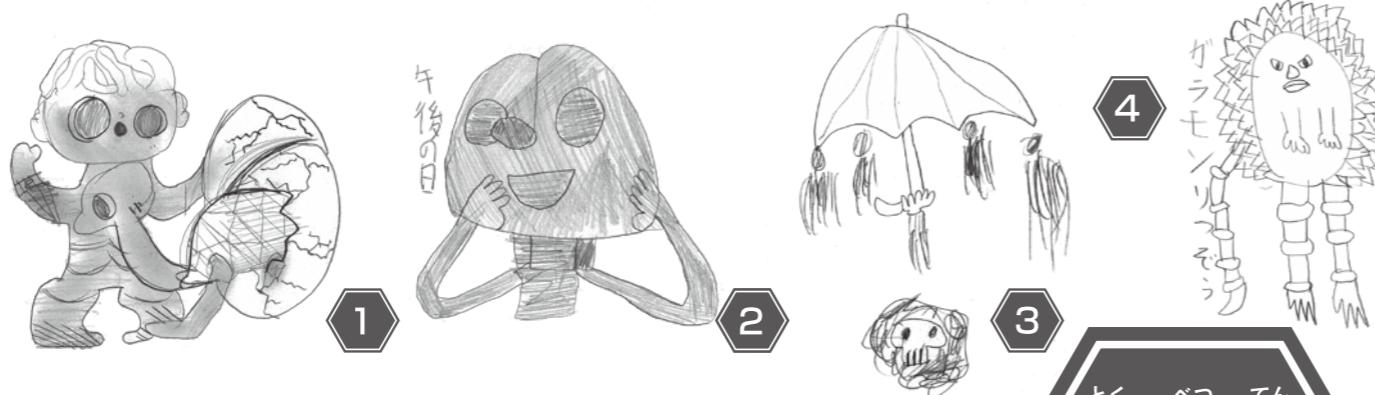
びとこま

33号

りにぎやかな活動になりました！
中村風香さんも元記者の阿部多香子さん
が、どこまでも協力してくれた八戸市美術館から見学に来てくれたり、
中村風香さんも参加してくれた！

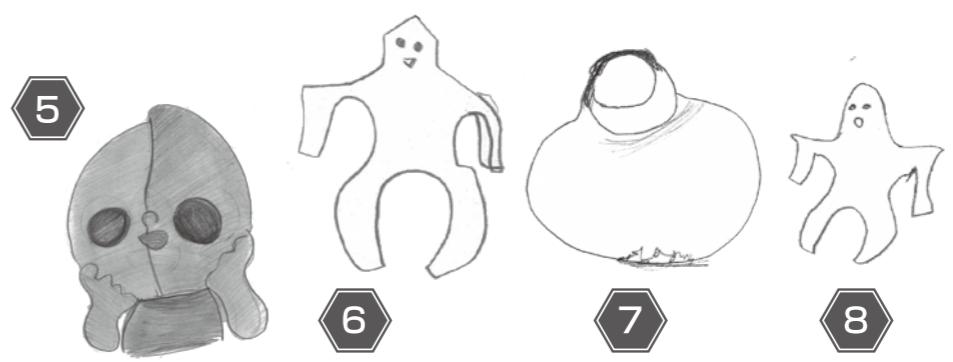
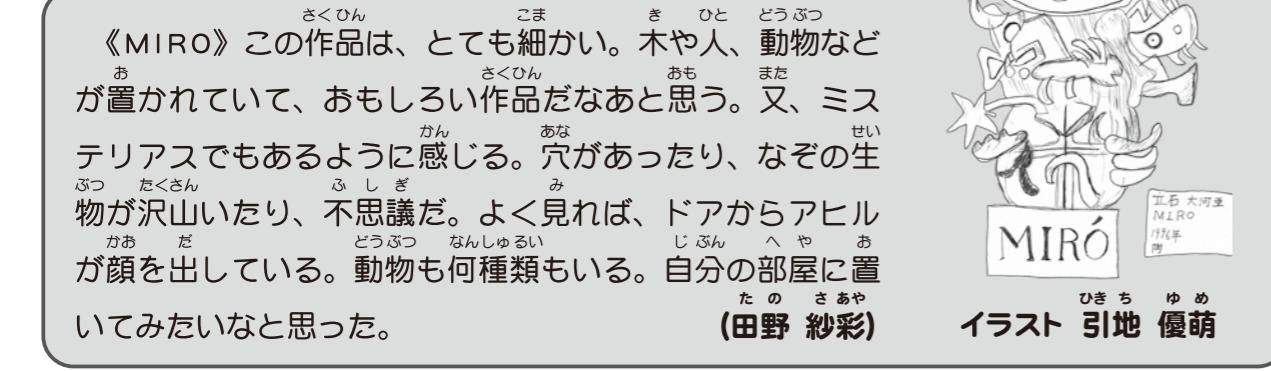


《MIRO》この作品は、とても細かい。木や人、動物など
が置かれていて、おもしろい作品だなあと思う。又、ミス
テリアスでもあるように感じる。穴があったり、なぞの生
物が沢山いたり、不思議だ。よく見れば、ドアからアヒル
が顔を出している。動物も何種類もいる。自分の部屋に置
いてみたいなと思った。



ぼくが描いた絵は、《前衛芸術家の魂》と言う作品です。なぜこれにしたかと言うと、ふしぎだったからです。のろいのかさをもったしゅんかんしんでしまったのかなと思った。使ったものの所に頭がい骨と書いてあっておどろきました。さいしょ見たとき本物に見えてしんぞうが止まるかと思いました。どういう気もちで作ったのかなと思いました。
(岡本 到)

ぼくが今日、しようかいするのは《白い箱》です。最初に思ったことは写真みたいでリアルだなということです。四コマまんがみたいで上から左、右、下の左、右とよむとエレベーターでたあれ、血が出て、げんけいがどんどんくなり、チョコになっちゃった！みたいになります。他の作品でもぜひ、ストーリーを考えしてください。
(葛西多喜司)



土偶は人や超自然的(自然の法則を超越した)存在を表しているとされている。多くの土偶は女性をかたちどって、出産の無事や豊穣を願って作られる。土の中からはバラバラではつけん発見される。
(阿部多香子)

《照葉樹林》はとてもこわい。寒色系の色使いで、ぼうで頭をつぶされているし、ゆうれいもいるし、口から目が出ていれば、バイクにひかれそうな人もいる。どうして、このような絵をかいしたのか、私は不思議でたまらない。
(田野 紗彩)

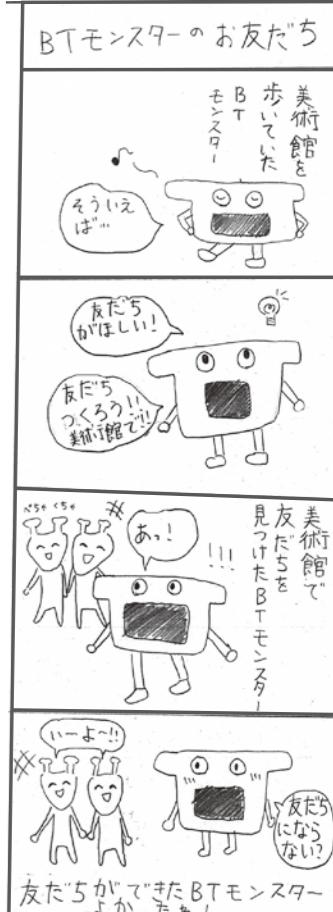


イラスト 田野 紗彩

絵をたくさん描いたよ！

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① 大橋 尊人 | ② 田野 心絆 | ③ 岡本 到 | ④ 田野 心絆 | ⑤ 大橋 尊人 |
| ⑥ 田野 葉絆 | ⑦ 田野 心絆 | ⑧ 田野 葉絆 | ⑨ 田野 葉絆 | ⑩ 大橋 尊人 |
| ⑪ 田野 心絆 | ⑫ 田野 心絆 | ⑬ 田野 葉絆 | ⑭ 田野 葉絆 | ⑮ 大橋 尊人 |
| ⑯ 阿部多香子 | ⑰ 田野 心絆 | ⑱ 田野 葉絆 | ⑲ 引地 優萌 | ⑳ 田野 心絆 |

今回の展覧会について

当館の開館10周年及び「はちとまネットワーク(苫小牧市・八戸市交流連携協定)」の提携5周年を記念して開催する本展は、「縄文」と「現代」という2つの時代の“かたち”を比較する美術博物館ならではの展覧会です。時代を超えて共通する人間の心のありようを感じてみてください！
細矢久人学芸員

20



点れくて

